担当　小林　亨

【第３次　１０時間目／１５時間】

（１）本時のねらい

　亀田郷の稲作について，新潟地震や地盤沈下への対応を調べることを通して，佐野藤三郎や亀田郷の人々の努力によって収穫量が増え続けてきたことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　栗ノ木排水機場ができた後に，２つの出来事が起こったことにもかかわらず，労働時間が減り続けた理由について疑問をもち，学習課題を設定する。  （10分）  ＜学習課題＞  ２つの出来事があったのに，収穫量が増え続けたのは，なぜだろうか。 | Ｔ1　亀田郷の米作りにかかる労働時間の減ったのは，どうしてでしたか。  Ｃ1　栗ノ木排水機場ができたことで，区画整理や機械化がされ，仕事の能率が高まったからです。  Ｔ2　労働時間は少なくなりました。収穫量（穫れる量）はどうなったと思いますか。実はこうなっています。  Ｃ2 もちろん増えてるはず。  Ｃ3　 あれ，減っている。  Ｔ3　実はこの年とこの年のあたりで，こんな２つのことがありました。（「地盤沈下」，「新潟地震」）  Ｃ4　やっと水が減ったのに / 地面が沈んだり，地震が起きたりしたなんて，排水機場は大丈夫だったのかな。  Ｃ5　この後，また収穫量（穫れる量）はどうなったのかな。  Ｃ6　地震の後だから，簡単には増えないと思う。  Ｔ4　収穫量は実は，こうなりました。  Ｃ7　すごい，増えてる。  Ｃ8　どうやったのだろう / 何をしたのだろう | 〇前時までのグラフや写真資料を掲示しておく。  ◯収量の推移を表すグラフを示し，1961年まで，ゆっくりと見せる。  ◯２つの出来事を提示する。  ・「新潟市の地面が，地下水を汲み上げすぎてしずみ始めた」  ・「地面が割れ水が噴き出す/堤防が壊れた新潟地震」  短冊等で提示する。  ◯1981年まで見せ，順調に収穫量が増えたことを示す。 |
| ２　佐野さんのお話やDVD資料から，佐野さんや亀田郷の人々の努力をとらえる。  （30分） | Ｔ5　それでは，佐野さんのお話資料を見てもらいます。  【資料DVDを視聴する(９分６秒)】  Ｔ6　どの出来事について解決したいですか。解決したい出来事の資料を読んで，「収穫量がが増え続けた」わけを探してみましょう。  Ｃ9「・工業が盛んになった新潟市の地面が，地下水を汲み上げすぎてしずみ始めた」：国（大蔵省，農林省）に働き掛けて～  「・地面が割れ水が噴き出す/堤防が壊れた新潟地震」  　　福井に行って方法を学び，県や国に働き掛けて～  　　「復旧より復興を」を実践して親松排水機場を新たに建設した～  Ｔ7　同じ出来事を調べた友達と，情報交換してみましょう。  Ｔ8　２つの出来事があったのに，労働時間が減り続けたのは，なぜでしょうか。発表してください。  Ｃ10（前述の部分を全体で確認する）  Ｔ9　この３つの出来事を乗り切った，共通点はどんなことでしょうか。  Ｃ11・国や県に働き掛ける。一人の力だけでなく，国や県の力をうまくつかったというところだと思います。  　 ・「復旧より復興を」の考え方を大切にしたというところだと思います。 | ◯調べる方法を問い，佐野さんのDVD視聴への意識付けをする。  ・映像⑧「乾田化と藤三郎」  ・映像⑩「地盤沈下と藤三郎」  ・映像⑪「地震復興と藤三郎」の後に新潟地震と親松排水機場10分12秒より後ろを流す。  ◯個人作業をさせる（実態によってはペア学習でもよい）  ◯DVDの言葉を印刷した文章資料を配付する。  ◯グラフを2012年まで見せ，収穫量の増え幅を，絵図資料で補足説明をする。 |
| ３　佐野さんのVTRを基に，労働時間が短縮された理由をまとめる。（5分） | Ｔ10　今日の学習のまとめに，佐野さんや亀田郷の人に，手紙を書いてみましょう。  ＜まとめ＞  排水機場ができた後も大変だったんですね。だけど，自分たちだけじゃなくて，国や県の力を借りるなんてすごいなと思いました。亀田郷の収穫量が増えたのは，佐野さんや昔の人たちのおかげですね。 | ◯佐野さん，土地改良前と後の田や稲作の様子が分かる写真を入れた手紙を配付する。 |